

あまみ

市議会だより

No.68
2023.3



▲ 令和4年12月23日 年末年始交通事故防止



▲ 令和4年12月25日 日本復帰記念の日のつどい



▲ 令和5年1月5日 紬の日のつどい



▲ 令和5年2月1日横浜 DeNA ベイスターズ春季キャンプ歓迎セレモニー

奄美・沖縄 世界自然遺産



第4回定例会

令和4年12月6日～12月23日

発行/奄美市議会
編集/奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町2番8号
TEL : (0997) 52-1111
FAX : (0997) 52-2815
Eメール : gikai@city.amami.lg.jp

第4回定例会一般質問 P 2～5

第4回定例会常任委員会の審査概要 P 6

第4回定例会の主な議案 P 7～9

奄振延長・提言特別委員会/議員の辞職について . . P 10～11

あとがき P12

市政を問う

12月7日、8日、9日の3日間で11名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※奄美市のホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

※下記のQRコードをスマートフォン等で読み取ってご覧いただくこともできます。

1日目

- 1 川口 幸義
- 2 林山 克巳
- 3 弓削 洋平
- 4 幸多 拓磨

2日目

- 1 栄 ヤスエ
- 2 橋口 耕太郎
- 3 和田 霜析
- 4 松山 さおり

3日目

- 1 崎田 信正
- 2 奥 輝人
- 3 関 誠之

奄美市 議会録画配信



動画配信は
こちら➔



市長の政治姿勢について



川口 幸義
自民党新国会
(総務企画委員会)

問 来年度日本復帰70年の節目を迎えるにあたり、市長としての取り組みについて

答 令和5年は日本復帰70周年を迎える。復帰運動については先人達の努力と団結力によって成し遂げられた歴史的にも貴重な出来事であり、この歴史的意義を次世代に継承していくことは我々にとって重要な責務であると認識している。奄美群島の各種イベントに復帰70周年記念の冠を付することの決定がなされている。70周年関連行事等の趣旨は復帰の喜びを分かち合いながらこれまでの歴史・文化を改めて考えるきっかけとなるよう確実に準備を進めながら取り組んでいきたい。

問 青久防波壁は奄美が米軍統治下にあった昭和25年に琉球政府により作られた石積みの防波堤で

あり歴史的価値がある。今後の活用について

答 青久防波壁については米軍統治下に琉球政府により作られ、日本復帰後の昭和30年まで継続された公共事業の構築物であり、総延長は278mにも及んでいる。当時作られた数少ない構築物の一つ。現在の護岸の先駆けともいえる貴重な防波壁である。今後の文化財指定について前向きな意見が多くあり、指定に向けての審議を行っている。

【その他の質問事項】
・小中校の不登校について
・市街地バス停に椅子の設置はできないか。



▲ 青久 むちゃかなの碑

『市長の政治姿勢及び見解』について



林山 克巳
輝風クラブ
(文教厚生委員会)

問 下水道料金値上げ・自衛隊基地を有する本市・悪天候による物資（生鮮食料品）の確保について

答 持続可能な事業運営を図るため、令和6年度以降資金不足が懸念され、早急な打開策が必要である。令和5年4月1日を予定しているが、世界情勢次第では据え置き措置も考えている。

基地を有する本市においての共同訓練は、日本の安全保障上の観点から実施しており、有事の際に国が責任を持つて必要な措置を講ずるための訓練であると認識している。

物資確保は事業所自ら冷凍・冷蔵機能を備えた施設整備を行っている。沖縄県では、ストック機能総合物流センターを整備しており、先行事例や関係団体等の意見を踏まえ

取り組んでいく。

問 教育行政（教員・支援員・保護者・子ども達）について

答 教育現場では生徒指導ハンドブックを基本に指導しており、支援を必要とする生徒には特別支援教育支援員を配置し、各種研修会において心に寄り添う指導を推進している。

問 デジタル化（マイナンバーカード・デジタルばらし券）について

答 マイナンバーカード申請率が全国で58.96%に対し、奄美市は62.54%、交付率は全国が52.84%に対し奄美市は59.27%。経済活性化を促す有効な施策であり、電子化実施に伴う予算額や導入までのスケジュールを調査し、県内他市へのアンケート調査を実施、情報収集を行っている。

【その他の質問事項】
・ふるさと納税（自主財源）について



▲マイナちゃん

山間集落入り口に位置する石だきガジュマルについて



弓削 洋平
チャレンジ奄美
(総務企画委員会)

問 保存樹としての見解について

答 担当部署と連携し、調査を行い検討していく。今年度開催予定の審議会においても、改めて現在の基準や審査のあり方について審議を行う。

問 透水性舗装について

答 大島支庁に確認したところ、「舗装が原因が不明なことから、樹木医等専門家の調査をして頂きその結果、舗装に問題があれば対応策を検討したい。」本市としても、保存樹の指定に伴う審議会の動向を踏まえ、関係機関に調査等ができないか協議していく。

問 災害時のキッチンカーとの協定について

答 今後、全国他自治体での協定事例なども参考にキッチンカー事業者の方々と意見交換などを行い、どのような連携が可

能か十分に検討していく。

問 都市公園の伐採回数・人員について

答 開発公社が管理しており人員4名。伐採は1公園につき年間3回。ハブによる咬傷被害を防ぐためにも伐採を徹底し、雑草が生育しづらい環境を作っていくことが重要である。防草資材の積極的な活用、自走式草刈り機等の機材の導入などによって作業の効率化を図っていく。

問 海域利用に係る関係者との協議会・条例の制定について

答 まずは民間事業者や関係団体との連携・協力の下、適正な海岸利用の推進が図られるよう努めていく。



▲ 山間集落 石だきガジュマル

送迎バス置き去り問題について



幸多 拓磨
チャレンジ奄美
(文教厚生委員会)

問 本市におけるの対策・現状について

答 送迎バスの置き去り問題については、本年9月に静岡県認定ことも園で発生した園児置き去り死亡事故を受け、本市で園児送迎を実施している該当施設に対し、送迎の現状や対策について聴き取りを行っている。市内幼稚園では公立、私立合わせて3園で園児の送迎を実施しており、送迎時には運転手のほかに職員が必ず1名乗車し、園児の安全確保と人数確認を行っている。さらに登園時にバスが幼稚園に到着する際は降車場に1名の職員を配置し、送迎バスに同乗する職員から人数確認の報告と共に引き継ぎを受け園児を施設へ案内している。その際、同乗する職員はバスの中に降りていない園児がいなか確認を行っている。日々送迎時の点検につい

てはチェックシートを用いて実施しており、現在まで、置き去りの報告はない。ご質問の、送迎バスの安全装置の導入については、現在、国において令和5年度実施施行を予定し準備を進めている「安全装置の義務付けと導入支援」について、現時点では制度の内容や対象など、詳細が示されていない状況ではあるが、本市としては園児の安全を第一に考えた対応を取ってまいりたいと考えている。

【その他の質問事項】
・ネーミングライツ進捗状況について 等



市民生活について



栄 ヤスエ
公明党
(総務企画委員会)

問 奄美市男女共同参画基本計画について

答 8つの重点分野を定めて取り組んだ。男女共同参画に関する市民意識調査では、「男女の地域の平等感」で「地域社会や社会通念・慣習・また政治の中で」「男性が優遇されている」との回答が多い結果が出ている。性別に関わりなく、全ての人が対等に、あらゆる分野における活動に参画する機会を確保できる社会形成に市民への意識醸成を図る必要があると考えている。

問 鹿児島県知事によるシエンダー平等推進宣言について

答 県は行政、経済、教育政治の4分野でシエンダーギャップ指数が全て低い結果である。本市においては、市民団体と連携し、市民への意識啓発や情報発信を継続している。今後もシエンダー平

等が推進されるよう、奄美市男女共同参画推進条例で定めた基本理念にのっとりた施策に取り組む。

問 子宮頸がんワクチン接種について

答 令和4年4月より積極的勧奨が再開された。接種対象者全てに対し、個別に予診票等の発送を行った。キャッチアップ接種の利用現状は、接種対象者の接種人数は40人で、内訳は高校2年生7人、高校3年生17人、19歳と25歳16人である。

問 国の出産・子育て応援交付金を活用した、妊娠期から子育て期の伴走型相談支援と経済的支援の本市の取り組みについて

答 これまで実施している事業と、新たに必要となる妊娠中の相談事業をつまき組み込み、さらにきめ細やかな支援ができるよう実施検討をする。開始時期は、速やかな実施にむけて、関係部署と準備を進めている。

福祉全般の施策について



橋口 耕太郎
公明党
(文教厚生委員会)

問 障がい者施設の入所状況、また短期入所状況(ショートステイ)についての現状は。

答 本市には、障害者支援のグループホームが6か所、合計の定員は約100名で各施設ともほぼ満室。入所支援施設は1か所、定員40名に対し現在すべて入所。また、短期入所施設は2か所あり令和3年の利用実績は、41人で定員に対して高い利用率となっている。緊急の際の対応は、相談支援員とも協議し、他町村の施設も含め検討し入所依頼を行っている。

問 独居高齢者の自宅での孤独死の有無は

答 県の統計調査の定義に沿って把握した本市の孤独死は左記のとおり。

孤独死の推移

R4	3件
R3	7件
R2	3件
R1	1件

※R4は11月末現在

令和3年度の内訳は、7件中4件が60代、70代が2件、80代が1件、全て男性。把握経路は警察からの問合せが多いが、市職員が発見したケースもあった。「コロナ禍による外出機会の減少や地域との繋がりの薄い、身寄りのない高齢男性が増加と推察している。」

【その他の質問事項】
・「フリーランスが最も働きやすい島化計画」について

・保育所への入所条件の緩和について
・精神疾患やアルコール依存症の相談窓口について

・世界自然遺産の学びを小中学校の授業へ組込めないか

・防災の観点から中学生の上履きをスリッパから靴等への変更を

・小中学校内の危険樹の伐採について

・県選抜選手に選ばれた生徒への旅費助成について

教育行政について



和田 霜析
自民党新公会
(産業建設委員会)

問 ナイトツアーの三太郎線予約状況について

答 三太郎線における自ルールに基づく利用状況は、昨年10月から令和4年5月までで総利用台数2055台、未予約者台数244台。未予約の割合は11.9%となっている。また、明らかな車速オーバーを21km以上とした場合、時速21km以上の走行データ割合の平均は21%となっている。

問 奄美くまびと留学について

答 これまでの留学の実績状況は、事業開始の平成30年度で里親6名のもと、5校で8名の受入れ、令和元年度が里親6名のもとで7名、令和2年度は里親3名のもとで5名受け入れた。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため受入れ中止、令和4年度は、里親2名のもと3名を受け入れた。今後特に力を入れていきたい

と考えているのが孫戻し型の留学。里親と実親間、里親と留学生間で起きていた問題を解消できるだけでなく、親族同士が住居を二つにするという、祖父母やお孫さんにとっても、かけがえのない時間になると考えている。

問 小規模校入学特別許可制度について

答 名瀬地区の比較的大規模な9校を原籍校とする児童生徒を対象に、芦花部小中学校と崎原小中学校の2校を特認校としている。特認校を増やすことについては、児童生徒数の減少や、それに伴う原籍校での学級数の減少、通学の長時間化等、現在の課題を踏まえて、市全体としての特認校制度の在り方を検討している。

【その他の質問事項】
・新型コロナウイルスについて
・観光振興について
・教育行政について
・市政について

観光について(フードダイバーシティについて)



松山 さおり
輝風クラブ
(産業建設委員会)

問 フードダイバーシティ対応についての見解を伺う。

答 「フードダイバーシティ」とは、「食の多様性」と訳され、一般的には、宗教や地域の違いによって食品や料理などの食習慣・食文化が世界で多様に存在することを指す。本市においては、新型コロナウイルス感染症拡大前に奄美産業活性化協議会主催で平成29年度から3か年間「外国人観光客接遇セミナー」が開催されており、訪日外国人観光客を受け入れるための基礎的な知識として、文化、国民性の違い、食に関する注意事項などを学ぶ研修を行っている。今後、関係機関とも連携しアフターコロナの訪日外国人観光客への対応として研修会等の開催を検討するなど、フードダイバーシティ対応についても努めてまいりたい。

問 台風等による船舶欠航に関わる食料品不足の際に食料品保存庫を一体化した建物の計画について伺う。

答 現在の名瀬漁業協同組合の製氷施設は老朽化が著しいため、施設の更新について、漁協、市、県など関係機関による協議を行っており、検討課題が多いのが現状。食料品保存庫施設の一体的整備については製氷施設整備の補助事業の目的に沿わない事や漁協の費用負担、さらには設置スペースの確保などの課題が想定され、製氷施設と併せての整備は難しいかと認識している。

【その他の質問事項】
・子ども食堂について
・依存症について
・つながる相談窓口について
・クロウサギのロードキルについて

インボイス制度への 奄美市の対策は



嶋田 信正
日本共産党
文教厚生委員会

問 住用町戸玉集落の生活環境改善のために、採石等の積出しは山間港を活用できないか

答 港の利用促進を図っていく。利用者の意向が優先されるので、地域の環境に配慮した利用促進の理解を求めつつ、山間港活用に結び付けたい。

問 学校給食費無償化についての見解は

答 完全無償化には、長期的・安定的な財源確保が必要と考えている。米飯・牛乳の全額補助のほか、総額1億3,670万円の財源が必要となる。国や他の自治体の動向に注視しながら総合的な検討が必要である。

問 インボイス制度への対策はなにか

答 買手となる事業者は売手事業者が適格者請求書を発行できなければ消費税の仕入税額控除を受

生産牛の振興について



奥 輝人
無所属
産業建設委員会

問 優良繁殖雌牛の導入や保留は子牛の生産性や商品性の向上に必要不可欠な事項である。本市における繁殖雌牛の導入実績について

答 令和2年度は購入による導入が11頭、自家保留牛は70頭の計81頭の導入。主な種雄牛は紀多福(きただふく)、美国桜(みくにざくら)、秀幸福(ひでさちふく)。R3年度の11月セリ市までは、購入牛11頭、自家保留牛50頭の計61頭の導入。主な種雄牛は秀幸福(ひでさちふく)、紀多福(きただふく)、若百合(わかゆり)となっている。

問 市財政で、民生費が多いことの見解は

答 令和4年度の民生費予算は37.5%。扶助費の大半を占める医療・福祉は、最も身近な住民サービスの二つであり、今後とも住民サービスの低下を招かないよう努めたい。

問 子牛相場について。コロナ禍の影響で外食産業の低迷や訪日観光客の減少で牛肉の消費量は減少し、枝肉相場が低迷しているが、家畜市場において母牛の血統や子牛の期待育種価で子牛相場に差が生じている。その要因について。

答 子牛相場は下落している状況であるが、子牛の血統や発育状況など、より商品性が強調された取引が目立ち、産歴が若い母牛から産まれた発育良好な子牛は高値で取引されている。一方で枝肉需要が見込めず、商品性の低い子牛は極端に安い価格での取引となっている。

問 多産高齢牛の適期更新について

答 10産を超える古い血統の子牛は発育状況に関わらず販売価格が低い傾向にある。その為、購買者の求める生産性の高い子牛生産には、優良な繁殖雌牛の導入・更新が必要不可欠であると考えている。

問 高齢農家の事故防止対策について

答 栽培講習会等において農作業事故の未然防止や安全対策の周知をしている。



▲ 母牛の食事中

市長の政治姿勢。 教育行政について



関 誠之
立憲民主党
文教厚生委員会

問 陸上自衛隊奄美駐屯地に関する認識について

答 ミサイル部隊の配備に対する考えは、南西地域の防衛の空白の解消を図ることであり、このことが抑止力となる。

問 奄美駐屯地等で米軍との合同訓練が年々拡大していることの見解は

答 日本の安全保障の観点から国際情勢を鑑み、有事の際に必要な措置を講ずるためと認識している。

問 有事の際、奄美市民国民保護計画で奄美市民の逃げ場は確保されているのか。

答 避難実施計画は作られてない。避難訓練を検討し、有事の際は、国・県・関係機関と連携し、状況に即時対応しながら、市民の安全確保に努める。

問 市内2中学校吹奏楽の学校名と陸自第8音楽隊

答 「教育的配慮」に明確な規定があるわけがなく、見解・考え方を互いに尊重しつつ、議論しながら理解を深めていくのが大切である。

問 吹奏楽の参加決定は誰がどこで決めたのか。

答 各校長が参加承認を行なった。校長が判断する時点で、チラシの内容は示されてなかった。学校からの事前の相談はなかったため、指導助言はしていない。

【その他の質問事項】
・マリンタウン地区分譲土地の売買状況と契約解除の問題点
・奄美市総合計画の進捗について



第4回定例会 常任委員会

審査概要

12月14日 文教厚生委員会
12月15日 産業建設委員会
12月16日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

文教厚生委員会

令和4年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

問 生活支援特定貸付金の実績について
答 本市から社協へ1億円の貸付けを行い社協が93名の市民に貸付けを行っている。

令和4年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第2号)

問 内科診療委託料(2,994万円)の増額要因について
答 新型コロナウイルスの影響により検査受診者が7、8月は例年の1.5倍程度に増えたため。

奄美市立港町児童センターの指定管理者の指定について

問 指定の在り方と事故等への対応について
答 当児童センターは児童館業務と別に地域子育て支援拠点事業を行っており同一建物内で児童の健全育成に精通した団体であることから公募でなく指名とした。

指定管理の範囲内で行われる事故等については市の加入する保険で対応できるが自主事業に係る分については適用されないため速やかに保険加入を要請した。



産業建設委員会

有害鳥獣捕獲事業費補助金、他関連する補助金
計159万2,000円

問 令和4年度はイノシシの駆除頭数が増加しているとのことだが、頭数の状況と増加の要因は。
答 市の事業による捕獲頭数は令和3年度は100頭、令和4年度は357頭。猟友会の方にも聞いたが、原因は分かっていない。

観光施設整備費(佐仁地区休憩施設の用地購入費)
192万1,000円

問 同施設の目的と完成の時期は。
答 集落などからトイレの設置について要望を受け、周遊型観光を推進するための拠点施設として整備するもの。令和5年9月頃の完成を見込んでいる。

奄美市下水道条例ほか関連条例1件の一部改正(令和5年4月から下水道料金を標準家庭で月660円値上げ)

【当局からの説明】
現状の料金水準では令和6年度以降、資金不足が予想されることから、持続可能な経営を行うために改正。併せて、本市で統一した料金とするための改正。

問 新型コロナウイルス、物価高騰の影響などがある中、なぜ今値上げするのか。
答 タイミング的に心苦しいが、このままでは将来に負債を積み増していくだけである。

問 料金値上げを据置きする可能性もあるという、本会議での答弁があったが。
答 今後著しい物価の高騰や、経済が上向かない状況、以前あったリーマンショックや東日本大震災のような大災害が起これば、最大半年を限度として、値上げの時期を延期することも検討したい。

総務企画委員会

令和4年度 奄美市一般会計補正予算
(第8号)

奄美市魅力発信業務について

問 ANAから出向している地域活性化企業人が、ふるさと納税を後押しする特産品の開発や、移住定住、SDGsに関する情報発信のほか、世界自然遺産委員会のコアメンバーになるなど、様々な活動を実施している。
問 たばこ税、軽自動車税の伸びについて
答 毎年売上本数が減少していたが、令和4年度上半期は対前年比1.2%、約37万本増加し4,000万円を増額補正した。軽自動車税の台数はほぼ横ばいだが、内訳で税率の高い自家用乗用車の増加、中でも登録から13年を超える車両の増加が要因となり、1,000万円を増額補正した。

奄美市景観条例の制定について

問 条例、景観計画案の策定の際に専門家から意見等を聞いているのか。
答 案の策定にあたっては、大学の先生や地元の建築士会、建築協会の方々に参画していただいた。また建築士会において説明会を開催するなど、できる限りご意見をいただくよう努めた。

日米軍事訓練反対の決議を求める陳情
▼不採択とすべきもの

【議員からの主な意見】
世界情勢や近隣諸国との緊張の高まり、頻発している領空・領海侵犯などがある中、あらゆる事態への対処力やしっかりとした抑止力のためには日米における共同訓練は必要である。

第4回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について (専決第13号 損害賠償の額を定めることについて)		
報告 第5号	専決処分の承認を求めることについて (専決第14号 令和4年度奄美市一般会計補正予算(第7号)について)	原案 承認	本会議
議案 第84号	令和4年度奄美市一般会計補正予算(第8号)について	原案 可決	全委員会
議案 第85号	令和4年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案 可決	文教 厚生
議案 第86号	令和4年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案 可決	文教 厚生
議案 第87号	令和4年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	原案 可決	文教 厚生
議案 第88号	令和4年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案 可決	文教 厚生
議案 第89号	令和4年度奄美市と畜場特別会計補正予算(第2号)について	原案 可決	文教 厚生
議案 第90号	令和4年度奄美市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案 可決	産業 建設
議案 第91号	令和4年度奄美市下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案 可決	産業 建設
議案 第92号	奄美市議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第93号	奄美市個人情報保護法施行条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第94号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第95号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第96号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第97号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第98号	奄美市景観条例の制定について	原案 可決	総務 企画
議案 第99号	奄美市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	産業 建設
議案 第100号	奄美市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	産業 建設

▽ 7ページの続き ▽

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第101号	奄美市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教 厚生
議案 第102号	奄美市立港町児童センターの指定管理者の指定について	原案 可決	文教 厚生
議案 第103号	奄美市老人福祉会館の指定管理者の指定について	原案 可決	文教 厚生
議案 第104号	奄美市市民交流センター及び奄美市名瀬公民館の指定管理者の指定について	原案 可決	文教 厚生
議案 第105号	奄美市奄美振興会館の指定管理者の指定について	原案 可決	文教 厚生
議案 第106号	奄美市名瀬本場奄美大島紬泥染公園の指定管理者の指定について	原案 可決	産業 建設
議案 第107号	奄美市大浜海浜公園及び奄美海洋展示館の指定管理者の指定について	原案 可決	産業 建設
議案 第108号	奄美市和瀬水産物加工センターの指定管理者の指定について	原案 可決	産業 建設
議案 第109号	奄美市木工工芸センター施設の指定管理者の指定について	原案 可決	産業 建設
議案 第110号	奄美市立金久児童館の指定管理者の指定について	原案 可決	文教 厚生

■前定例会からの継続審査

受理番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第74号	令和3年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計決算等 審査特別委員会
議案 第75号	令和3年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第76号	令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第77号	令和3年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第78号	令和3年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第79号	令和3年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第80号	令和3年度と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第81号	令和3年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第82号	令和3年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計決算等 審査特別委員会
議案 第83号	令和3年度奄美市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計決算等 審査特別委員会

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情 第6号	日米軍事訓練反対の決議を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務 企画

■前定例会からの継続審査

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情 第3号	政府に対して「インボイス制度実施延期を求める意見書」の提出を求める陳情	奄美民主商工会 会長 濱田 幸造	採択	産業 建設

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																【○賛成数】	【●反対数】						
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	和田霜析	松山さおり	林山克巳	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤス工	大迫勝史	奥晃郎	竹山耕平	元野景一	関誠之	崎田信正	与勝広			西公郎	奥輝人	伊東隆吉	川口幸義	多田義一	
令和3年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	19	1
令和3年度奄美市水道事業会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	19	1
奄美市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について・奄美市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	19	1
日米軍事訓練反対の決議を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	-	●	●	●	●	●	2	18

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

第1回臨時会の議案

令和5年1月27日に第1回臨時会を行いました。

受理番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について (専決第1号定住促進住宅の家賃滞納に係る訴え提起前の和解申立てについて)		
議案 第1号	令和4年度奄美市一般会計補正予算(第9号)について	原案 可決	本会議

奄振について

奄美群島振興開発特別措置法は奄美群島の地理的・歴史的な特殊事情を鑑み、本土との格差是正や課題の解決を図るため、昭和29年に「奄美群島復興特別措置法」として制定されました。その後、5年間の時限法として名称や目的を変更しつつ延長されてきました。身近な事例としては、航路・航空路運賃軽減事業(離島割引カード)などがあります。

現在、国や県など関係機関において改正に向けた議論が進められています。

取りまとめた提言書は、令和4年12月23日の最終本会議にて可決となりました。また、1月12日に提言書を橋口委員長、和田副委員長より市長・大島支庁・奄美群島広域事務組合などへ提出しました。国土交通省・県知事・県議会議長には文書を送付しました。

奄美市議会では昨年7月に令和5年度末で期限を迎える奄美群島振興開発特別措置法の延長に向けて特別委員会(橋口耕太郎委員長、委員10名)を設置しました。同委員会は計8回開催され、各業界団体との意見交換会等を実施しました。取りまとめた提言書には新しく奄振法に追加する事項として、「奄美群島と沖縄との間の諸活動の促進」、「子どもの貧困対策」、「生活・事業に必要な物資の費用負担の軽減」などを盛り込んでいます。また、奄美群島の振興開発に必要な施策・制度等に関する事項として、必要な予算の確保、道路整備や港湾・空港整備などの公共事業に関する事項、奄美群島振興交付金の拡充を含む各種非公共事業に関する事項、奄美群島振興開発基金に関する事項などを盛り込んでいます。

奄振延長・提言特別委員会

提言書を提出しました



▲ R4.12.23 橋口委員長による最終報告



▲ R4.11.24, 25 各種団体との意見交換会



奄美市議会報告会

奄美市議会では、開かれた議会を目指して市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、ご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。

今年度の議会報告会は2月3日（金）に市内3か所で開催されました。皆様からの貴重なご意見は、市当局へしっかりお伝えするとともに今後の議会活動の参考とさせていただきます。

名瀬会場

場所：市民交流センター

担当議員：

幸多拓磨・関誠之・永田清裕
伊東隆吉・西公郎



住用会場

場所：住用総合支所3階会議室

担当議員：

奥晃郎・崎田信正・和田霜析
大迫勝史・弓削洋平・川口幸義



笠利会場

場所：笠利総合支所3階会議室

担当議員：

橋口耕太郎・与勝広・正野卓矢
奥輝人・栄ヤスエ・多田義一



議員の辞職

について

松山さおり氏（輝風クラブ）が令和4年12月23日付、元野景一氏（自民党新政会）が12月31日付で奄美市議会議員を辞職されました。松山氏におかれましては2期7年、元野氏におかれましては3期11年にわたって市政発展のためご尽力いただきました。ありがとうございました。



元野 景一氏



松山 さおり氏

